

先端 IT 活用推進コンソーシアム
(AITC)

第12回(最終)総会

議 案 書

2021年10月22日(金)
オンライン開催

目 次

第1号議案 第11期(2020年度)活動報告の件	
・活動実績.....	1-1
第2号議案 第11期(2020年度)収支報告の件	
・収支計算書.....	2-1
・貸借対照表・財産目録.....	2-2
・清算期 収支計算書.....	2-3
・清算期 貸借対照表・財産目録.....	2-4
・監査報告書.....	2-5
第3号議案 活動終了に関する件	
・活動終了に関する件.....	3-1
・残余財産譲渡の契約(覚書)案.....	3-1
・著作権譲渡契約書(案).....	3-2

注:AITCにおける年度は下記の通りです。

- 第1期(2010年度):2010年9月8日~2011年8月31日
- 第2期(2011年度):2011年9月1日~2012年8月31日
- 第3期(2012年度):2012年9月1日~2013年8月31日
- 第4期(2013年度):2013年9月1日~2014年8月31日
- 第5期(2014年度):2014年9月1日~2015年8月31日
- 第6期(2015年度):2015年9月1日~2016年8月31日
- 第7期(2016年度):2016年9月1日~2017年8月31日
- 第8期(2017年度):2017年9月1日~2018年8月31日
- 第9期(2018年度):2018年9月1日~2019年8月31日
- 第10期(2019年度):2019年9月1日~2020年8月31日
- ⇒ 第11期(2020年度):2020年9月1日~2021年8月31日

第 1 号議案

第 11 期（2020 年度）活動報告の件

先端 IT 活用推進コンソーシアム

第 11 期の活動総括

前年の総会時点では、今期は集合スタイルとオンライン開催を適宜選択あるいは組み合わせられた活動ができるようになることを想定していた。しかし、新型コロナウイルスによるパンデミックは長引き、変異株の感染が拡大する状況の中で、結局は全ての活動をオンラインで実施することとなった。

相変わらず、集合形式とは違う運営の難しさ(例えば、参加者の顔の表情や場の雰囲気や伝わる反応が読み取りづらい等)を抱えてはいるものの、Web 会議システム自体に反応表示が付加されたり、参加者からの反応表明や汲み取り方も徐々に体得し、オンライン会議に慣れ、使いこなせるようになった。結果として、オンライン開催のメリット(交通時間の削減、会場探しの負荷削減など)を活かしながら、会員主体の部会から非会員も参加可能なオープン活動まで、全活動を活発に展開することができた。

オンライン環境で運営の難しい IoT や AI など演習中心の勉強会は、昨年は三密(密閉、密集、密接)の回避が困難なため止むを得ず延期、中止とせざるを得なかったが、その後、トライアルを重ね、サポート要員の確保や Breakout Room を利用して躓いている参加者の個別サポートを行うなど運営に格別の工夫をし実施した結果、演習中心の全ての勉強会をオンラインで開催し、好評裡に完了することができた。関係者各位に感謝したい。

企業にとって昨今一番の関心事である DX に関しては、10 回連続で Web セミナーを開催した。DX の先達や有識者からの講演に加えて、講演後には質疑応答を兼ねた意見交換・交流会を実施したが、毎回、様々な議論が飛び交い、参加者から「インサイトフルな半年だった」と評価をいただく程の濃密な時間と場を提供することができた。第 11 期の活動として「デジタルトランスフォーメーション(DX)に関する情報発信や議論等に取り組み、ICT(先端 IT を包含)の利活用による企業の社会的価値の創出へ貢献することを目指す」とした目標に叶う活動ができたと考える。

オープン活動としての Web セミナーでは、知見を有する方から知識を得たい初学者まで全国から参加者を得たことで、情報と知見を広範に伝播できたのみならず内容の濃い、白熱した議論が可能になるなど、まさにオンライン開催のメリットを活かすことができた。

一方、協働プロジェクト「空気を読む家」のデモ開発は、システムを構成する機器を 1 箇所に集めて結合し、システムとして完成させることが難しかったため、諦めざるを得ない状況となった。その主因は、「空気を読む家」では入力と出力に直接触れて体験することが重要な要素だが、リモートではシステム全体を直接体験することができないためである。AITC コンソーシアム活動の最後を飾ることができなかったのは誠に残念であったが、これからもコミュニティで活動を継続し、未来を描きながら先端 IT 活用による「空気を読む家」の完成にチャレンジするとのことであり、更なる展開を期待したい。

予期せぬパンデミックにより活動に大きな制約を受けたコンソーシアムの最終盤ではありましたが、最後の最後まで活動の充実に励んだ活動メンバーの探求心と向上心、各種活動を支え続けた運営メンバーの弛まぬ尽力と忍耐、そしてそれを支えてくださった会員各位の温かいご支援とご協力に理事各位と顧問の先生方のご助言やご指導と、その全てが相まって、AITC のコンソーシアム活動は一定の成果をあげ、ここに終結することとなります。これまでコンソーシアムに関わってくださった皆様に心から感謝申し上げます。

【第 11 期の重点施策と各活動のトピックス】

1. 新しい技術領域、特に企業がこれからの技術として注目する新しい技術への取り組みを継続

1) 部会での取り組み

・クラウド・テクノロジー活用部会:

協働プロジェクト「空気を読む家」の最新テーマである快適な出勤を実現するに必要となる各種データやセンサーを活用した検証や量子コンピューティング(量子アニーリング)試用を実施

・コンテキスト・コンピューティング研究部会:

「近未来の社会的情報基盤の提言」に向け、協働プロジェクト「Project LA」で顕在化した課題および「空気を読む家」へのコンテキスト・コンピューティングの活用について考察

・ビジネス AR 研究部会:

AR から xR へと広がる領域を取り込んで活動を展開

当部会が定義するビジネス AR の AR は人間の主観が知覚する「現実感」を拡張する技術であり、ビジネス AR の中心はサービス AR である。この定義に基づき、「現実感」をどのように拡張し、価値ある体験の提供ができるのかについて考察と議論を実施

2) オープン活動での取り組み

・Web セミナーでは半年間に亘り計 10 回の DX シリーズを実施し、DX 関連の幅広い知見を提供

DX シリーズ: 主として技術者向け、マネジメント向けとして先達者と識者の知見を提供(1 月~6 月 10 回開催)

次のシリーズ: AI、ブロックチェーン、量子コンピューティングの最新情報を提供(6 月~8 月 4 回開催)

・勉強会では IoT と AI にフォーカスし、会員と非会員がともにスキルと知見を習得する場、切磋琢磨する場を提供し、IoT と AI 領域での人材育成と社会への貢献を実践

身近になったAI開発シリーズ2:「Neural Network Console 勉強会」(全7回)

シニア技術者勉強会:「一から始めるIoT 5 周目」(全6回)

女子会:「Neural Network Consoleで機械学習に挑戦!」(全10回)

2. 会期末(2021年8月末日)に向け、AITC 活動集大成への取り組み
パンデミック下、制約を受けた部会活動ならびに協働プロジェクトにおけるデモ開発・実証検証等について、コンソーシアムの後継団体たるコミュニティで継続して活動し、集大成化に取り組む
3. 先端ITに関する情報と知見の発信、活動の更なるオープン化で社会貢献に注力
・従来は会員限定勉強会であった「身近になったAI開発シリーズ2」をオープン活動とし、非会員の参加も可能として実施
・Web セミナー、シニア技術者勉強会、女子会をオープン活動として継続実施
・IT フォーラム、セミナー資料&動画を即時に一般公開
4. 活動終了後に向けた環境整備に注力
・サイトをリニューアルし、AITC コンソーシアム 11 年間の一般公開資料を検索・利用し易いように改善
・コンソーシアム終了後の情報基盤(7年間)およびドメイン(8年間)の保持
・コンソーシアムの繋がりを保持し、活動継続を希望するメンバーのためのコミュニティ組織を準備

第11期活動実績

■会員数

2021年08月31日現在:総会員数63会員(法人&個人事業主会員:26、個人会員:31、学会会員:2、特別会員:4[※])
(参考)

2020年08月31日現在:総会員数63会員(法人&個人事業主会員:26、個人会員:31、学会会員:2、特別会員:4[※])

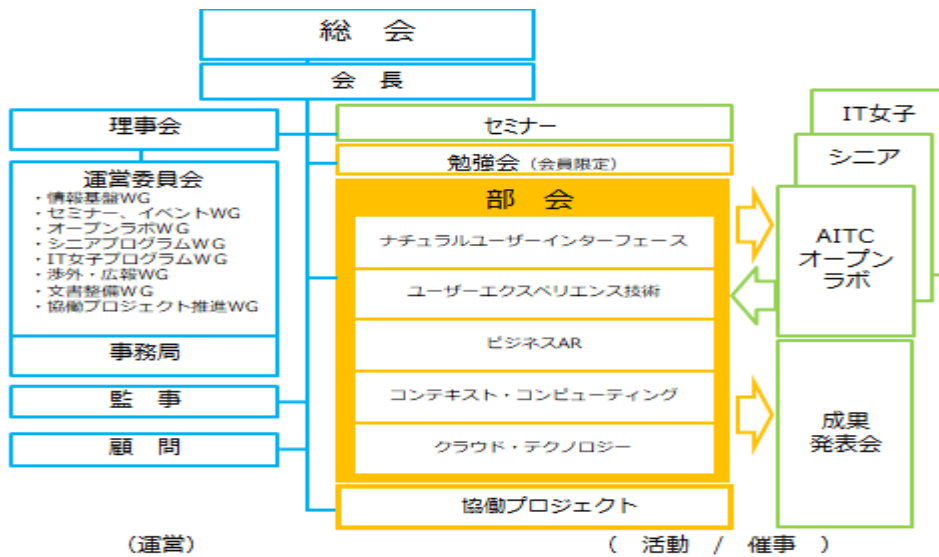
※特別会員:産業技術総合研究所、気象庁、消防研究センター、防災科学技術研究所

■運営関連の活動実績

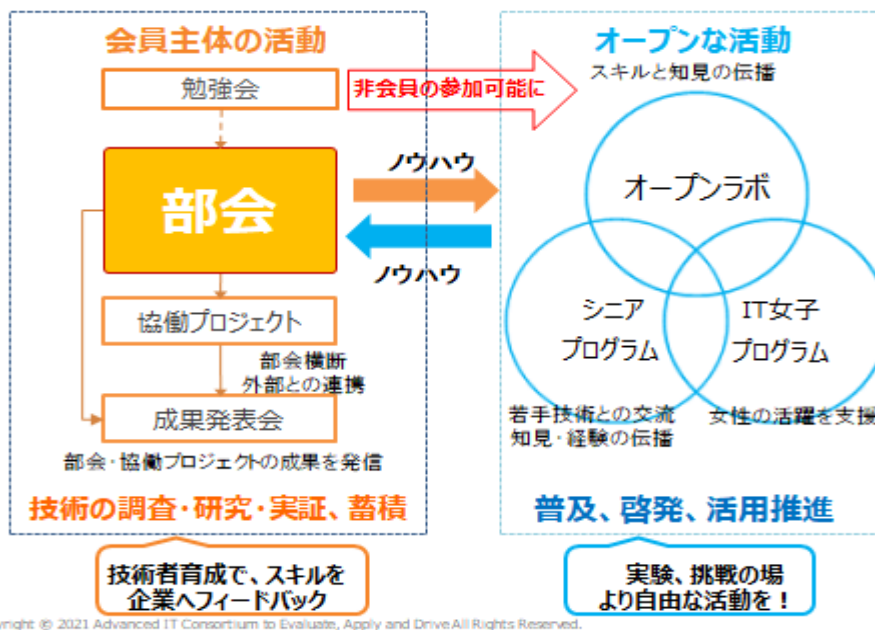
1. 年次総会&総会記念講演: 第11回総会 :2020年10月9日開催(出席者:会員52名、非会員6名)
第12回(最終)総会::2021年10月22日開催
2. 理事会: 開催4回、ML 審議6回
3. 運営委員会:開催16回、SNS 審議3回
活動内容:
 - (1)入退会管理
 - (2)収支管理
 - (3)セミナー・イベント企画・運営:総会、成果発表会、AITC オープンラボ(6月~Web セミナーに移行)
 - (4)会員向け活動支援(部会、協働プロジェクト、会員限定勉強会)
オープンな活動(オープンラボ、シニアプログラム、IT 女子プログラム)
 - (5)情報基盤:ドメイン&サーバー管理
 - (6)渉外・広報:AITC パンフレット更新、AITC ニュースレター発行
 - (7)外部組織・団体との連携/協力:
活動企画・運営: 気象庁、気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)、情報処理学会 IT フォーラム
 - (8)会員アンケートの実施、サマリー公開:第10期会員アンケート、第11期会員アンケート

■会員主体の活動(部会、協働プロジェクト、勉強会)活動実績

(参考図1: 第11期 体制図)

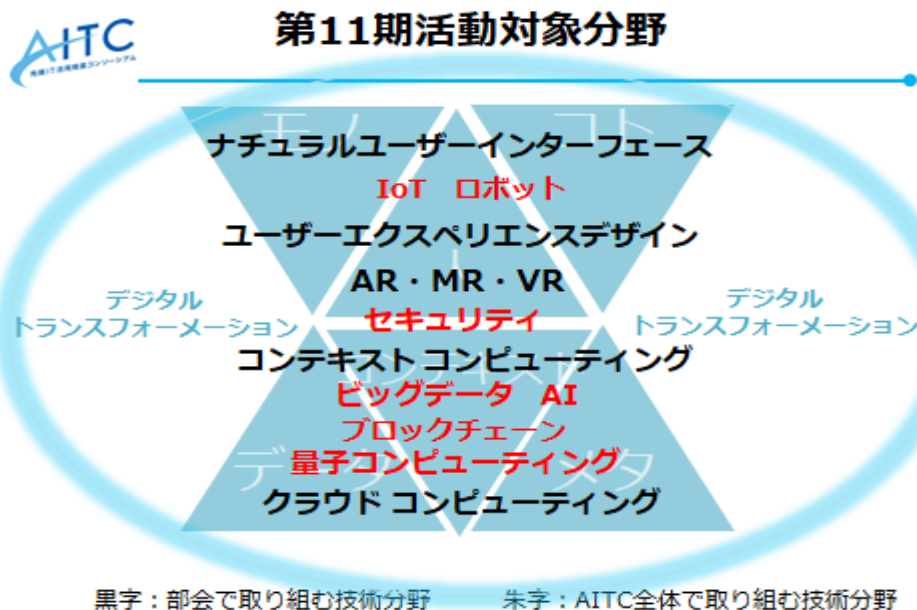


(参考図2:活動体系)



Copyright © 2021 Advanced IT Consortium to Evaluate, Apply and Drive All Rights Reserved.

(参考図3:第11期活動対象分野)



Copyright © 2021 Advanced IT Consortium to Evaluate, Apply and Drive All Rights Reserved.

1. 第10期(2019年度)活動成果発表会(オンライン開催)

2020年10月1日 クラウド・テクノロジー活用部会

10月2日 協働プロジェクト「空気を読む家」、コンテキスト・コンピューティング研究部会

10月4日 ビジネス AR 研究部会

参加者:67名(会員 64名、非会員3名)

第11期(2020年度)活動成果発表会 (オンライン開催)

2021年10月8日 ビジネス AR 研究部会、クラウド・テクノロジー活用部会、コンテキスト・コンピューティング研究部会、協働プロジェクト「空気を読む家」

2. 部会

(1)クラウド・テクノロジー活用部会(2011年5月発足)

1)開催実績:月例会部会 11回、参加者延べ47名

2)活動内容:

- ・VRChat 体験会 2020/11/25
- ・Amazon QuickSight 勉強会 2020/12/23
- ・公共交通オープンデータ、調査
- ・ラズパイで TWELITE CUE を使った試作
- ・M5PAPER を使った試作
- ・クラウドで使える量子コンピュータ、調査
- ・外部イベントでの発表:「IT フォーラム 2021」(2021年2月3日)

3)今期の活動成果

- ・試作成果(IT フォーラム 2021 で発表)
→シニア勉強会の教材として使用 http://cloud.aitc.jp/20210226_RaspberryPi4/
- ・公開資料&掲載 URL
ソフトウェアアジア 2021 協働プロジェクト『空気を読む家』ドコでナニしている?
https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it57

4)11年間の成果

- ・システムを実装して公開
 - － 協働プロジェクト『ProjectLA』、バックエンドの API
 - － 協働プロジェクト『空気を読む家』、データ収集とデータ可視化部分
 - － 『気象庁防災情報 XML API』を一般公開(2013年~2021年、現在は公開終了)
- ・勉強会を開催
 - － 「R 言語で始めよう、データサイエンス!」3回
 - － 「IoT 勉強会」4回
 - － 「RDF/SPARQL ハンズオン勉強会」1回
 - － 「D3.js でオープンデータをビジュアライズしてみよう!」3回
 - － 「電子署名(PKI)ハンズオン」1回
 - － 「プログラマーのための量子コンピュータ入門」3回
- ・イベント講演
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2012 IT フォーラムセッション
 - － Mahout を使ったプロトタイプ
http://aitc.jp/events/20120201-SoftwareJapan2012/data/20120201-ITForum_4_aramoto.pdf
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2013 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「ProjectLA」
 - － バックエンドの技術解説 RDF を使った三つ組みデータの格納と検索
http://aitc.jp/events/20130215-SoftwareJapan2013/20130215_SoftwareJapan_3.pdf
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2016 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」
 - － 空間 OS のためのビッグデータ技術基盤 https://www.slideshare.net/aitc_jp/201624-os-57987229
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2017 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」
 - － 「空気を読む家」におけるデータ解析 https://www.slideshare.net/aitc_jp/2017it-forum-aitc4
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2018 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」
 - － 「空気を読む家」におけるオブジェクト認識技術 https://www.slideshare.net/aitc_jp/2018-it4
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2019 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」
 - － キッチンにおけるデータ収集 https://www.slideshare.net/aitc_jp/31-133093969
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2020 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」
 - － 室内を画像処理で把握 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2020-aitc4
 - 情報処理学会 ソフトウェアアジア 2021 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」
 - － 空間 OS とフィジカルの連携 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it57

(2)コンテキスト・コンピューティング研究部会(2010年10月発足)

1)開催実績:月例会 11回、参加者延べ57名

2)活動内容

- ・コンテキスト・コンピューティングの理論
 - 書籍の輪読(演習の実施を含む)と関連研究・活動の参照、および議論
 - 意思決定理論
 - 『「意思決定」の科学』、『ファスト&スロー』
 - 社会心理学
 - 『集団と集合知の心理学』
 - 『コンテキスト』と『オントロジー』に関する調査
 - 「タスクオントロジー」と「メタオントロジー」に関する調査
- ・コンテキスト・コンピューティングの実践
 - 空間OSの理解
 - 『オントロジー』と『コンテキスト』に関する整理
 - 空間OSを用いた分散協調システムの検討
 - 人と機械の協働に関する実装例
 - 「弱いロボット」に関する研究・実験
 - 「知と具体例」のギャップに関する議論
 - 「機械ならではの知」と「人間の血を補完する人工知能的な知」
- ・コンテキスト・コンピューティングの応用
 - 「空気を読む家」におけるコンテキスト/オントロジーの検討
 - エージェント間で共有するデータ構造としてのコンテキストの検討

3)今期の活動成果および公開資料&掲載URL

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2021 ITフォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 『「空気を読む家」を読み解く ～ 朝の出勤前の行動を例に ～』 <https://www.slideshare.net/aitc.jp/it2021-it37>

4)11年間の成果

公開資料

SoC2014(第5回ソーシャルコンピューティングシンポジウム)投稿論文

- 「コンテキスト・コンピューティングに基づく意思決定のための知識抽出手法」(2014年9月30日公開)

DEIM2014(第6回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム)投稿論文

- 「コンテキスト・コンピューティングとその応用」(2014年9月30日公開)

KBSE 2014(知能ソフトウェア工学研究会)投稿論文

- 「コンテキスト・コンピューティングの構想～情報の共有と個人化の方法論として～」(2014年9月30日公開)

DEIM2018(第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム)投稿論文

- 「コンテキスト・コンピューティングにおける投稿の信頼性評価」(2018年9月7日公開)

DEIM2019(第11回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム)投稿論文

- 「コンテンツの信頼性評価に関する考察」(2019年6月19日公開)

イベント講演

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2011 ITフォーラムセッション

- 「コンテキストがオープン・ガバメントを具現化する -防災情報の個人化に関する研究事例-」

http://aitc.jp/cc/ITforum/AITC_20110203_ITforumPart1.pdf

http://aitc.jp/cc/ITforum/AITC_20110203_ITforumPart2.pdf

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2013 ITフォーラムセッション

- 「ビッグデータが導く「知識から行動へ」実証プロジェクトのご紹介」

http://aitc.jp/events/20130215-SoftwareJapan2013/20130215_SoftwareJapan_1.pdf

http://aitc.jp/events/20130215-SoftwareJapan2013/20130215_SoftwareJapan_2.pdf

http://aitc.jp/events/20130215-SoftwareJapan2013/20130215_SoftwareJapan_4.pdf

http://aitc.jp/events/20130215-SoftwareJapan2013/20130215_SoftwareJapan_5.pdf

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2016 ITフォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 『「空気を読む」ためのコンテキストコンピューティング」

<http://www.slideshare.net/aitc.jp/201624-os-57987242>

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2017 ITフォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 『「空気を読む」ためのコンテキストコンピューティング」

<https://www.slideshare.net/aitc.jp/2017it-forum-aitc5>

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2018 ITフォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 「空間OSが『空気を読む』ためのコンテキスト・コンピューティング」

<https://www.slideshare.net/aitc.jp/2018-it6>

情報処理学会 ソフトウエアジャパン 2019 ITフォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 「コンテキスト・コンピューティンで紐解く『空気を読む家』のキッチン」

https://www.slideshare.net/aitc_jp/4-133094457

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2020 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 「将来展望: コンテキスト・コンピューティンで紐解く『空気を読む家の安全と安心』」

https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2020-aitc7

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2021 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 「『空気を読む家』を読み解く ～ 朝の出勤前の行動を例に ～」

https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it37

(3) ビジネス AR 研究部会 (2011 年 7 月発足)

1) 開催実績: 月例会 11 回、参加者延べ 39 名

2) 活動内容:

- ・空気を読む家についてのディスカッション、Unity と空間 OS の概念を活用した空気を読む家シミュレーションデモ実装
- 協働プロジェクトに参加
- 上記の一環で、情報処理学会ソフトウェアアジア 2020 IT フォーラムセッション (2021 年 2 月 3 日開催) でデモ、および講演
- ・バーチャル空間を活気のあるものにするには? XR を社会に浸透させる要因についてのディスカッション
- 空間 OS を中心に定例会にて継続してディスカッション
- PLATEAU 体験
- 外部識者 (NTT データ山田さん、前部会リーダー大林さん) とディスカッション
- 部会顧問 (三淵先生) とディスカッション
- ・個人活動事例の共有
- 部会メンバーの個別活動についての事例紹介
アバターがグループディスカッションに与える影響についての研究 (井出)
強化学習を用いたエージェントの行動の最適化に関する研究 (西野)
航空写真から作成したフォトグラメトリのモデルデータを用いた VR 空間における街の体験 (西野)
フォトグラメトリやってみた (近藤)
ダイナミックマップの紹介 (近藤)
- ・外部イベントで発表: IT フォーラム 2021 (2021 年 2 月 3 日)

3) 活動成果、および公開資料 & 掲載 URL

- ・Unity + AIPlanner で快適な朝をシミュレーション (井出) https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it47
- ・空間 OS によるエージェント連携 (中川) https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it67

4) 11 年間の成果

・公開資料

人工知能学会 セマンティック Web とオントロジー (SWO) 研究会 (第 48 回 SWO 研究会) 投稿論文
「空間 OS によるエージェントのデータ共有と相互運用」(2020 年 9 月 1 日公開)

人工知能学会 セマンティック Web とオントロジー (SWO) 研究会 (第 39 回 SWO 研究会) 投稿論文
「LOD の物理世界拡張と空間 OS」(2020 年 9 月 1 日公開)

AR 産業論 (2013 年 5 月 8 日公開)

コラム「AR 産業とは」(2013 年 8 月 26 日公開)

コラム「AR が救う 100 年後の人類」(2013 年 8 月 26 日公開)

AR 関連デモ ソースコード (2013 年 7 月 16 日 会員限定公開)

・イベント講演

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2012

- AR-小さくて大きな話

https://aitc.jp/events/20120201-SoftwareJapan2012/data/20120201-ITForum_2_take.pdf

- 「目玉おやじロボット」と「タイムトラベルナビ」

https://aitc.jp/events/20120201-SoftwareJapan2012/data/20120201-ITForum_3_nakagawa.pdf

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2016 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 空間 OS の設計コンセプトと先端 IT https://www.slideshare.net/aitc_jp/201624-osit

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2017 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 空間 OS の設計コンセプトと先端 IT https://www.slideshare.net/aitc_jp/2017it-forum-aitc6

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2018 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 空間 OS の設計コンセプトと先端 IT https://www.slideshare.net/aitc_jp/2018-it5

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2019 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 空間 OS https://www.slideshare.net/aitc_jp/33-133094186

情報処理学会 ソフトウェアアジア 2020 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

- 『安心安全な空気を読む家』LookingGlass で空間の AR https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2020-aitc3

- 『安心安全な空気を読む家』を縁の下で支える空間 OS https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2020-aitc6

情報処理学会 ソフトウェアジャパン 2021 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

－ Unity + AIPlanner で快適な朝をシミュレーション(井出) https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it47

－ 空間 OS によるエージェント連携(中川) https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it67

第 10 期 第一回 Web セミナー「ソフトウェアエンジニアの在宅勤務」

－ 「これから当たり前！？新しいコミュニケーションプラットフォームの紹介と活用のヒント」

(4) ユーザーエクスペリエンス技術部会(2011 年 12 月発足)

都合により、第 11 期は協働プロジェクト『空気を読む家』に関する活動以外は休止

1) 活動内容

協働プロジェクト『空気を読む家』において、「安全安心な」空気を読む家のデモンストレーションをマンガ駆動開発で作成

2) 今期の活動成果

IT フォーラム 2021 で発表 https://www.ipsj.or.jp/event/itf/itf2021/ITF_AITC.html

3) 公開資料 & 掲載 URL

マンガ駆動開発による「安全安心な」空気を読む家 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it27

(5) ナチュラルユーザーインターフェース活用部会(2011 年 12 月発足)

1)~3) 都合により第 11 期は活動を休止

4) 11 年間の成果:

・システム試作

－ 「NUI を活用した交通切符販売機の改良」

・セミナー、イベント開催

－ 第 1 回 先端 NUI 技術セミナー「マイクロソフトの NUI テクノロジー」

－ 第 2 回 先端 NUI 技術セミナー「富士通研究所の画像センシング技術と UI への応用」

－ 第 3 回 先端 NUI 技術セミナー「音声認識・音声合成技術の現状と NTT における取り組み」

－ 第一回デジタルガジェット祭り http://aitc.jp/newsletter/01_201405/

－ 第二回デジタルガジェット祭り「AITC meets IoT」 http://aitc.jp/newsletter/06_201507/

－ 第三回デジタルガジェット祭り「入力センサー特集」 http://aitc.jp/newsletter/11_201610/

－ 第四回デジタルガジェット祭り「出力デバイス特集」 http://aitc.jp/newsletter/15_201710/

－ 第五回デジタルガジェット祭り「スマートスピーカー特集～ 市販 & 自作のスマートスピーカー競演 ～」

http://aitc.jp/newsletter/19_201810/

・イベント講演

－ 情報処理学会 ソフトウェアジャパン 2016 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

「空間 OS のための家電制御技術と情報連携」 http://www.slideshare.net/aitc_jp/201624-os

－ 情報処理学会 ソフトウェアジャパン 2017 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

「『空気を読む家』における IoT 技術」 https://www.slideshare.net/aitc_jp/2017it-forum-aitc3

－ 情報処理学会 ソフトウェアジャパン 2019 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

「キッチンにおけるデータ収集」 <https://www.slideshare.net/kzokm/ss-139017692>

「『空気を読む家』のインタフェースとしてスマートスピーカーを使ってみた」

https://www.slideshare.net/aitc_jp/34-133094295

－ 情報処理学会 ソフトウェアジャパン 2020 IT フォーラムセッション 協働プロジェクト「空気を読む家」

「『安心安全な空気を読む家』におけるスマート照明」 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2020-aitc5

(6) 協働プロジェクト「空気を読む家」(協働プロジェクト第 2 弾として 2014 年 12 月検討開始)

1) 開催実績: 13 回、参加者延べ 106 名

2) 活動内容:

『家の DX が実現する安心安全な空気を読む家』をテーマに活動

起床～出勤までの行動を分析し、通常、寝坊、早起きなど

シチュエーションに応じて快適な行動を促し方を議論と実装。

議論の結果とデモを IT フォーラム 2021 で発表。

3) 今期の活動成果: IT フォーラム 2021 で発表 https://www.ipsj.or.jp/event/itf/itf2021/ITF_AITC.html

公開資料 & 掲載 URL: IT フォーラム 2021 での発表資料

『空気を読む家』Final!家の DX が実現する安心安全な空気を読む家 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it17

マンガ駆動開発による「安全安心な」空気を読む家 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it27

『空気を読む家を読み解く』～朝の出勤前の行動を例に～ https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it37

Unity + AIPlanner で快適な朝をシミュレーション https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it47

ドコでナニしている? ～空間 OS とフィジカルの連携～ https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it57

空間 OS によるエージェント連携 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it67

家の DX が実現する安心安全な空気を読む家 https://www.slideshare.net/aitc_jp/it2021-it77

4) 11 年間の成果:

3. 勉強会(会員限定) → 最終期は、社会貢献の一環としてオープン活動として実施

■オープン活動(AITC Web セミナー<オープンラボとの合同開催>、シニア技術者勉強会、女子会) 活動実績

1. AITC Web セミナー:

- ・開催実績: 14 回 (講演:19 時～20 時、Q/A & 意見交換:20 時～)
- ・参加者数: 963 名(会員 382 名、非会員 581 名)

【DX シリーズ】

全体テーマ:DX 時代におけるソフトウェア/ビジネス/社会のあり方を考える
～役割を超えて、マインドセットを変えて、未来を創ろう!～

パート1 :ビジネスと社会をデザインし、構築するためのソフトウェア工学

- ・2021/01/27 「オープニングイベント」 参加者 112 名(会員 45 名、非会員 67 名)
- ・2021/02/05 「DX 時代の新たなソフトウェア工学に向けて - SWEBOK と SE4BS の挑戦 -」 参加者 107 名(会員 23 名、非会員 73 名)
- ・2021/02/17 「デジタルビジネスの潮流とアジャイル開発 ～ビジネスとエンジニアの協働チームづくり～」 参加者 95 名(会員 37 名、非会員 58 名)
- ・2021/03/12 「より良いモノコト創り、より良い人創りを目指して取り組むべき課題」 参加者 71 名(会員 27 名、非会員 44 名)
- ・2021/03/24 「DX 時代のリベラルアーツとしてのアジャイルマインド」 参加者 55 名(会員 15 名、非会員 40 名)
- ・2021/04/07 「パネルディスカッション」 参加者 50 名(会員 33 名、非会員 17 名)
- パート2 :日本企業における DX 推進と実現に向けて
- ・2021/04/21 「DX の本質とガバナンスの必要性」 参加者 67 名(会員 24 名、非会員 43 名)
- ・2021/05/07 「DX の本質とビジネスの変容」 参加者 67 名(会員 24 名、非会員 43 名)
- ・2021/05/19 「日本企業の DX の現状と課題ーデジタル社会実現に向けた取り組みー」 参加者 60 名(会員 24 名、非会員 36 名)
- ・2021/06/04 「パネルディスカッション」 参加者 59 名(会員 17 名、非会員 42 名)

小計: 参加者 743 名(会員 280 名、非会員 463 名)

【新シリーズ】Deep Learning、ブロックチェーン、量子コンピューティング

- ・2021/06/16 「Deep Learning の最新動向と今後の予測」 参加者 90 名(会員 47 名、非会員 43 名)
 - ・2021/07/07 「ブロックチェーンの最新動向～『NFT』の現状とこれから」 参加者 51 名(会員 22 名、非会員 29 名)
 - ・2021/07/27 「LayerX のセキュリティ・プライバシー保護技術『Anonify』の取り組み事例並びにユースケース仮説のご紹介」 参加者 25 名(会員 12 名、非会員 13 名)
 - ・2021/08/25 「IBM の量子コンピューティングの最新動向」 参加者 54 名(会員 21 名、非会員 33 名)
- 小計: 参加者 220 名(会員 102 名、非会員 118 名)
参加者総数 963 名(会員 382 名、非会員 581 名)

2. 身近になった AI 開発シリーズ2(Nueral Network Console ハンズオン勉強会)

- ・講師: 吉田裕之氏(個人会員)
- ・運営&演習サポート: 瀧井 崇行氏(システムフロンティア)、入江弘憲氏(リコーIT ソリューションズ)
- ・開催実績: 8 回(18 時 30 分～21 時開催)
参加者: 合計 174 名(会員:62 名、非会員:112 名)
- ・活動内容:
 - 3 月: プレイメント「Fashion MNIST にチャレンジ!」(シリーズ 1 の参加者向けイベント) 24 名(会員 15 名、非会員 9 名)
 - 4 月: 勉強会(初級編)計 25 名(会員:6 名、非会員:19 名)
 - 5 月: 勉強会(Autoencoder 編)計 27 名(会員:9 名、非会員:18 名)
 - 6 月: 勉強会(CNN 編①)計 24 名(会員:8 名、非会員:16 名)
 - 6 月: 勉強会(CNN 編②)計 19 名(会員:6 名、非会員:13 名)
 - 7 月: 勉強会(RNN 編①) 計 21 名(会員:6 名、非会員:15 名)
 - 8 月: 勉強会(RNN 編②)計 19 名(会員:5 名、非会員:14 名)
 - 9 月: 作品コンテスト(シリーズ 2 の参加者向けイベント) 15 名(会員 7 名、非会員 8 名)
 - お題 1: FashionMNIST で Accuracy95%に挑戦
 - お題 2: 小林一茶のような新作俳句を披露
 - お題 3: 自由課題
- ・活動成果: 各勉強会の講義資料、データセット、関連ツールを公開 (<http://cloud1.aitc.jp/ai/files/>)

3. シニア技術者プログラム(シニア技術者勉強会、2015 年 3 月発足)

- ・運営&講師: 近藤繁延氏(ウルシステムズ)、荒本道隆(アドソル日進)
- ・開催実績: 6 回
- ・参加者: 40 名(会員:18 名、非会員:22 名)
- ・開催日 & 活動テーマ
 - 2020 年 11 月 20 日(金) Raspberry Pi のセットアップしよう
 - 2020 年 12 月 18 日(金) Raspberry Pi でセンサーを操作する

2021年1月22日(金) Raspberry Pi でインターネット連携
2021年2月26日(金) Raspberry Pi で画像認識
2021年3月26日(金) アイデアソン&ハッカソン&開発開始
2021年5月21日(金) 成果発表会

- ・活動内容:「一からはじめるIoT勉強会5周年」のアイデアソン&試作開発
- ・活動成果:

2021/05/21(金) AITC シニア技術者勉強会「一からはじめるIoT5周年」第6回 成果発表会
試作テーマ:

- ・ゆるキャラでわかる換気センサ:姿勢検出+CO2+MQTT
- ・ダンベル何回アがる?:姿勢検出+JetsonNano
- ・見える!自分の姿勢!! :姿勢検出+JetsonNano
- ・二酸化炭素の呼吸:姿勢検出:CO2+M5StickC
- ・Re:ゼロから始める感染隔離生活:CO2+MQTT+顔検出+非接触体温計

- ・公開資料&掲載 URL

・AITC シニア技術者勉強会「一からはじめるIoT5周年」成果発表会(動画)
<https://www.youtube.com/watch?v=3dXtbF3MTdU>

・ゆるキャラでわかる換気センサ:姿勢検出+CO2+MQTT(SlideShare)
https://www.slideshare.net/aitc_jp/20210521-aitc

・ダンベル何回アがる?:姿勢検出+JetsonNano(SlideShare)
https://www.slideshare.net/aitc_jp/20210521-aitc-248464429

・見える!自分の姿勢!! :姿勢検出+JetsonNano(SlideShare)
https://www.slideshare.net/aitc_jp/20210521-aitc-248464435

・二酸化炭素の呼吸:姿勢検出:CO2+M5StickC(SlideShare)
https://www.slideshare.net/aitc_jp/20210521-aitc-248464441

・Re:ゼロから始める感染隔離生活:CO2+MQTT+顔検出+非接触体温計(SlideShare)
https://www.slideshare.net/aitc_jp/20210521-aitc-re

4. IT女子プログラム (通称:AITC女子会、2015年5月発足)

運営: 宮城亜莉沙氏(個人会員)、荒井美千子(リコー)

活動実績:月次開催7回(2020年9月以降の第11期分として)、参加者:54名(会員:47名、非会員:7名)

活動内容:「Neural Network Consoleで機械学習に挑戦!」

(第10期)

第1回:2020年6月20日(土)3章輪講、インストール

第2回:2020年7月18日(土)1章・2章輪講

第3回:2020年8月22日(土)4章前半輪講

(第11期)

第4回:2020年9月26日(土)4章後半輪講

第5回:2020年10月24日(土)テーマ決め、事前調査

第6回:2020年11月14日(土)実装(1)(グループワーク)

第7回:2020年12月12日(土)実装(2)(グループワーク)

第8回:2021年1月16日(土)実装(3)(グループワーク)

第9回:2021年2月20日(土)発表準備(グループワーク)

第10回:2021年3月13日(土)成果発表

■公開資料

【第11回総会】

2020/10/09(金) 先端IT活用推進コンソーシアム(AITC) 第11回総会

・[第11回総会議案書](#)

・[総会記念講演「DX推進知識の共特化」
動画](#)

【会員アンケート(会員限定公開)】

・[AITC第10期\(2019年度\)会員アンケート\(会員限定\)](#)

【資料&動画:第10期(2019年度)活動成果発表会】

クラウド・テクノロジー活用部会

[気象庁XML取得API、6年間の運用のまとめ、その1](#)

[気象庁XML取得API、6年間の運用のまとめ、その2](#)

[Web会議使い比べてみた](#)

[動画](#)

協働プロジェクト『空気を読む家』

[安心安全な空気を読む家 最新版](#)

[動画](#)

コンテキスト・コンピューティング(CC)研究部会

[社会知の構築と活用 ～ 転倒検知を事例に](#)

[動画](#)

ビジネス AR 研究部会

[ワクワクする AR の未来、第1部](#)

[ワクワクする AR の未来、第2部](#)

[動画](#)

【資料&動画:第11期(2020年度)活動成果発表会】

ビジネス AR 研究部会

[AR から XR へ](#)

[コミュニティ移行への期待～CC 研とのディスカッションから見えた「xR という病」について](#)

クラウド・テクノロジー活用部会

[東京公共交通オープンデータチャレンジ!](#)

[BLE タグで置き傘を管理したい](#)

[朝のスケジュールリングを量子コンピュータで挑戦](#)

[平日出勤時の行動をIoTでサポート](#)

コンテキスト・コンピューティング(CC)研究部会

[ProjectLA の再考察](#)

協働プロジェクト『空気を読む家』

[『空気を読む家』を振り返って](#)

[空間 OS](#)

セミナー動画

[動画](#)

【IT フォーラム(2021/02/03 情報処理学会主催)】

[『空気を読む家』Final!家の DX が実現する安心安全な空気を読む家](#)

[マンガ駆動開発による「安全安心な」空気を読む家](#)

[『空気を読む家を読み解く』～ 朝の出勤前の行動を例に ～](#)

[Unity + AIPlanner で快適な朝をシミュレーション](#)

[ドコでナニしている? ～空間 OS とフィジカルの連携～](#)

[空間 OS によるエージェント連携](#)

[家の DX が実現する安心安全な空気を読む家](#)

[動画](#)

【(オープン活動)AITC Web セミナー】

DX シリーズ 第1回～第10回 [資料&動画](#)

第1回 2021/01/27 オープニングイベント

第2回 2021/02/05 「DX 時代の新たなソフトウェア工学に向けて」

第3回 2021/02/17 「デジタルビジネスの潮流とアジャイル開発～ビジネスとエンジニアの協働チームづくり～」

第4回 2021/03/21 「より良いモノコト創り、より良い人創りを目指して取り組むべき課題」

第5回 2021/03/24 「DX 時代のリベラルアーツとしてのアジャイルマインド」

第6回 2021/04/07 「パネルディスカッション」

第7回 2021/04/21 「DX の本質とガバナンスの必要性」

第8回 2021/05/07 「DX の本質とビジネの変容」

第9回 2021/05/19 「日本企業の DX の現状と課題ーデジタル社会実現に向けた取り組みー」

第10回 2021/06/04 「パネルディスカッション」

新シリーズ 第1回～第4回 [資料&動画](#)

第1回 2021/06/19 「Deep Learning の最新動向と今後の予測」

第2回 2021/07/07 「ブロックチェーンの最新動向 ～『NFT』の現状とこれから」

第3回 2021/07/27 「LayerX のセキュリティ・プライバシー保護技術「Anonify」の取り組み事例並びにユースケース仮説のご紹介」

第4回 2021/08/27 「IBM の量子コンピューティングの最新動向」

【(オープン活動)身近になった AI 開発シリーズ2】

各勉強会の講義資料、データセット、関連ツール(参加者限定公開)

【(オープン活動)シニア技術者勉強会】

・「一からはじめる IoT 勉強会」

■チーム発表資料

[ゆるキャラでわかる換気センサ:姿勢検出+CO2+MQTT](#)

[ダンベル何回アがる?:姿勢検出+JetsonNano](#)

[見える!自分の姿勢!!:姿勢検出+JetsonNano](#)

[二酸化炭素の呼吸:姿勢検出:CO2+M5StickC](#)

[Re:ゼロから始める感染隔離生活:CO2+MQTT+顔検出+非接触体温計](#)

[動画](#)

■ハンズオン資料

[Raspberry PI による MQTT](#)

[Raspberry PI による姿勢検出](#)

【(オープン活動)女子会】

・「Neural Network Console で機械学習に挑戦!」

■チーム発表資料(参加者限定公開)

第 2 号議案

第 11 期（2020 年度）収支報告の件

先端 IT 活用推進コンソーシアム

第 11 期(2020 年度)収支計算書

2020 年 9 月 1 日 から 2021 年 8 月 31 日 まで (単位:円)

	第 11 期 予算	第 11 期 実績	差額	備考
1. 収入の部				
前年度繰越	6,905,912	6,905,912	0	
年会費	0	0	0	第 10 期末時点の会員無料(会員種別は問わず)
懇親会等参加費	0	0	0	全活動オンラインで実施のため、懇親会開催なし
雑収入	70	52	18	利息
収入の部合計	6,905,982	6,905,964	18	
2. 支出の部				備考:使途別費用
総会開催費	1,500,000	0	1,500,000	参照:特記事項1
活動支援金 (部会、勉強会)	500,000	138,513	361,487	レンタル・サーバー&商用 Web サービス:60,489 円 Zoom、Webex 年間利用料:49,148 円 CC 研輪読用書籍購入費:28,876 円
協働プロジェクト支援金	400,000	33,271	366,729	デモ用センサー購入費:19,920 円 Project LA 用サーバー費:13,351 円
イベント参加費	100,000	55,000	45,000	「IT フォーラム 2021」スポンサー費:55,000 円
技術セミナー、オープンラボ開催費	300,000	289,465	10,535	DX シリーズ講師謝礼(7 名分):250,000 円 Zoom 大規模オプション:39,465 円
シニア技術者勉強会 & 女子会 活動支援金(特別支援金)	100,000	0	100,000	
事務局経費	2,640,000	2,640,000	0	情報配信&サイト管理費:1,320,000 円 上記以外の全事務局作業費:1,320,000 円
通信費	10,000	1,788	8,212	切手代(旧料金レターパック不足分を含む):1,048 円 レターパック購入費:740 円
事務消耗品費	20,000	10,640	9,360	プリンター用備品費(インク、用紙):9,650 円 事務用品費(領収書、ノート等):990 円
雑費	20,000	12,980	7,020	銀行振り込み手数料:12,650 円 ATM 使用料:330 円
会期終了準備費	920,000	507,089	412,911	会期終了後 7 年間の情報基盤維持費:507,089 円 参照:特記事項2
予備費	395,982	0	395,982	
支出の部合計	6,905,982	3,688,746	3,217,236	
次期繰越収支差額	0	3,217,218	-3,217,218	後継団体「先端 IT 活用推進コミュニティ」へ譲渡 参照:特記事項1、2
合計	6,905,982	6,905,964	18	

特記事項:

本学会期終了時点(2021 年 8 月 31 日)での上記剰余金(3,217,218 円)には、今後支出予定の下記費用が含まれています。

- 総会開催費(予算 150 万円):当該予算は新型コロナ収束を待ってコンソーシアム最終懇親会を開催する目的で、使途目的を特定し、後継団体たる「先端 IT 活用推進コミュニティ」への預け金とする。また、実施後の残金はコミュニティに譲渡する。
- 会期終了準備費(予算計上 92 万円):10 月支払いの 2 項目(Web サイト改修費 44 万円、事務局残務整理作業要員費 22 万円)
- 雑費:440 円(銀行振り込み料)

以上により、本会の後継団体として発足する「先端 IT 活用推進コミュニティ」への譲渡金は、1,056,778 円となる見込みです。

貸借対照表

2021年8月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	3,217,218		
流動資産合計		3,217,218	
資産合計			3,217,218
【負債の部】			
前受金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
【正味財産の部】			
正味財産			3,217,218
(うち当期正味財産増加額)			-3,688,694
負債及び正味財産合計			3,217,218

財産目録

2021年8月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	3,217,218		
普通預金	3,217,218		
横浜銀行	3,217,218		
流動資産合計		3,217,218	
資産合計			3,217,218
【負債の部】			
流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			3,217,218
負債及び正味財産合計			3,217,218

清算期 収支計算書(最終報告)

2021年9月1日から2021年10月22日まで (単位:円)

	清算期 予算	清算期 実績	差額	備考
1. 収入の部				
前年度繰越	3,217,218	3,217,218	0	
年会費	0	0	0	
懇親会等参加費	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
収入の部合計	3,217,218	3,217,218	0	
2. 支出の部				備考: 使途別費用
総会開催費	0	0	0	
活動支援金 (部会、勉強会)	0	0	0	
協働プロジェクト支援金	0	0	0	
イベント参加費	0	0	0	
技術セミナー、オープンラボ開催費	0	0	0	
シニア技術者勉強会 & 女子会 活動支援金(特別支援金)	0	0	0	
事務局経費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
事務消耗品費	0	0	0	
雑費	550	440	110	銀行振り込み手数料: 550円
会期終了準備費	700,000	660,000	40,000	Webサイト改修費: 440,000円 残務作業支援要員費: 220,000円
予備費	2,516,668	0	2,516,668	
支出の部合計	3,217,218	660,440	2,556,778	
コミュニティへの預け金: 「コンソーシアム最終懇親会費」として		1,500,000	-1,500,000	残金は後継団体「先端IT活用推進コミュニティ」へ譲渡※
剰余金		1,056,778	-1,056,778	後継団体「先端IT活用推進コミュニティ」へ譲渡※
合計	3,217,218	3,217,218	0	

特記事項:

コンソーシアムとコミュニティは「残余財産譲渡の契約(覚書)」を締結し、コミュニティはコンソーシアムの活動を継承し、コンソーシアムの成果物を管理する後継団体であることを証する。

清算期貸借対照表(最終報告)

2021年10月22日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	2,556,778		
流動資産合計		2,556,778	
資産合計			2,556,778
【負債の部】			
前受金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
【正味財産の部】			
正味財産			2,556,778
(うち当期正味財産増加額)			-660,440
負債及び正味財産合計			2,556,778

清算期財産目録(最終報告)

2021年10月22日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
現金預金	2,556,778		
普通預金	2,556,778		
横浜銀行	2,556,778		
流動資産合計		2,556,778	
資産合計			2,556,778
【負債の部】			
流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			2,556,778
負債及び正味財産合計			2,556,778

監査報告書

2021年10月12日

先端IT活用推進コンソーシアム
会長 鶴保 征城 殿

監事 水谷 学



私 監事は、先端IT活用推進コンソーシアム会員規約第31条に基づき、本会の会期と定めた2020年9月1日から2021年8月31日ならびに清算期である2021年10月期に発生した会計および業務について監査を行い、次のように報告します。

記

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査のため、帳簿ならびに関係書類の閲覧をし、貸借対照表、収支計算書、財産目録について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。
- (2) 業務監査のため関係書類の閲覧をし、業務執行について検討し、必要と思われる監査手続きを用いて調査した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、収支計算書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法令および規約に従って、先端IT活用推進コンソーシアムの財産および収支を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容および業務執行に関して、不正行為または法令もしくは規約に違反する事実はないことを認める。

以上

第 3 号 議案

活動終了に関する件

先端 IT 活用推進コンソーシアム

本会活動終了に関する件

本総会では、本会の解散、成果物移管および残余資産の処分に関し、会員規約 会員規定(会期)、第 36 条(解散)および第 37 条(残余資産の処分)に則り、審議をお願いする。

●会期規定

(会期)

第1条 本会の会期は2010年9月8日より2021年8月31日までとする。

第2条 会期の延長は、総会の承認による。

(解散)

第36条 本会は、第3条に示した本会の目的を果たしたとき、あるいは、その役割を果たしたとき、総会において、出席会員数の3分の2以上の議決を得て解散することができる。

(残余資産の処分)

第37条 本会のは解散の場合、残余資産は第36条に示した手続きの後、本会と類似の目的を持つ他の法人又は団体に譲渡できるものとする。

審議案件:

1. 本会解散の件

本会は、先端活用推進コンソーシアム会員規約の会期規定に定める2021年8月31日をもって会期終了し、本総会をもって解散すること

2. 本会の残余資産(活動成果物、管理対象物品、情報基盤、剰余金)については、本会の後継団体たる「先端 IT 活用推進コミュニティ」(本日発足)に譲渡すること

【本会の残余資産】

活動成果物: 公開資料一式(参照:P3-3)

管理対象物品(購入金額 10 万円超): 2012/8/7 購入 BizAR 研究部会 Touch&Try イベント
HDM 用デモ機器(126,000 円)

情報基盤: AITC コンソーシアムサイト、AITC コミュニティサイト(作成済)

会員専用 SNS 環境、Web 会議システム(本会終了後 7 年間の費用確保済)

ドメイン名(本会終了後 8 年間の費用確保済)

各種アカウント(connpass、Facebook、SlideShare、Twitter、YouTube、Zoom、Webex)

剰余金 : 1,056,778 円(2021 年 10 月 31 日譲渡予定額)

【譲渡に関わる資料】

1. 残余財産譲渡の契約(覚書)案
2. 著作権譲渡契約書(案)

【残余財産譲渡の契約(覚書)案】

先端 IT 活用推進コンソーシアム(以下「甲」という)と先端 IT 活用推進コミュニティ(以下「乙」という)とは、次の条項により甲の残余財産の譲渡契約を締結する。

第 1 条(譲渡の根拠)

甲は、甲の後継団体として設立され、甲と同種の活動を行う乙に対し、甲の残余資産を無償譲渡する。

第 2 条(残余資産)

譲渡の対象となる残余資産は次のとおりとする。

1. 譲渡物品:HDM 用デモ機器(2012 年 BizAR Touch & Try イベント用。購入価格:126,000 円)
2. 情報基盤:AITC コンソーシアムサイト、AITC コミュニティサイト(作成済)
会員専用 SNS 環境、Web 会議システム(本会終了後 7 年間の費用確保済)
ドメイン名(本会終了後 8 年間の費用確保済)
各種アカウント(connpass、FB、SlideShare、Twitter、YouTube、Zoom、Webex)
3. 譲渡金 :1,056,778 円

第 3 条(所有権移転および残余資産の引き渡し)

残余資産の所有権は、本契約の締結をもって乙に移転する。

2. 甲は、前項の規定により残余資産の所有権が乙に移転した日から 30 日以内に引き渡す。

第 4 条(瑕疵担保)

乙は、本契約締結後、譲渡物品の HDM 用デモ機器に不具合のあることを発見しても、甲に対して損害賠償の請求をすることはできない。

第 5 条(契約の費用)

本契約の履行における運搬に関する費用は、すべて乙の負担とする。

第 6 条(譲渡物品の処分)

乙は、譲渡物品(HDM 用デモ機器)が不用になった場合には、適正に処分し、費用はすべて乙の負担とする。

第 7 条(譲渡金の用途)

乙は、譲渡金を乙の円滑な運営費用として活用する。

2. 乙は、乙の解散時に余剰金が認められた場合は、同種の活動を行う団体に無償譲渡することができる。

第8条(協議)

本契約に定めのない事項、または本契約について甲乙解釈を異にした事項については双方誠意をもって友好的に協議の上解決する。

本契約締結の証として、本書を2通作成し、両者署名または記名捺印の上各自1通を保持する。

令和3年10月 日

甲 先端 IT 活用推進コンソーシアム
会長 鶴保 征城 印
乙 先端 IT 活用推進コミュニティ
代表 (代表者氏名) 印

【著作権譲渡契約書(案)】

先端 IT 活用推進コンソーシアム(以下「甲」という)と先端 IT 活用推進コミュニティ(以下「乙」という)とは別紙目録1記載の著作物(以下「本著作物」という)の著作権譲渡に関し、次のとおり契約を締結する。

第1条(著作権の譲渡)

甲は乙に対し、本著作物に関する全ての著作権(著作権法第27条、同第28条に定める権利を含む)を別紙目録3記載の移管日時に譲渡する。

第2条(著作者人格権)

甲は、本著作物について、乙並びに乙より正当に権利を取得した第三者及び当該第三者から権利を継承した者に対し、著作者人格権(著作権法第18条乃至第20条の権利をいう)を行使しない。

第3条(保証)

甲は乙に対し、本著作物を現状のまま譲渡するものとし、明示、黙示を問わず、本著作物に瑕疵がないこと、本著作物が第三者の著作権、肖像権その他いかなる権利も侵害するものでないこと、特定の目的に適合していること(但しこれらに限定されない)等その他一切の保証をしない。また、合法的なものであることも保証しない。

第4条(本著作物の納入)

1. 甲は乙に対し、本著作物を別紙目録2記載の方法により、別紙目録3記載の日時までに移管する。
2. 前項の規定により乙に移管された本著作物の収録媒体(以下「収録媒体」という)の所有権および危険負担は、移管時に乙に移転するものとする。

第5条(対価)

本著作物の著作権の譲渡、その他本契約に基づく一切の対価は、無償とする。

第6条(損害賠償)

甲は、本著作物に起因し、又は本契約の履行に関し乙に生じた一切の損害について、賠償の責を負わないものとする。

第7条(協議)

本契約に定めのない事項、または本契約について甲乙解釈を異にした事項については双方誠意をもって友好的に協議の上解決する。

第8条(管轄)

甲及び乙は、本契約について訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とすることに合意する。

本契約締結の証として、本書を2通作成し、両者署名または記名捺印の上各自1通を保持する。

令和3年10月 日

甲 先端 IT 活用推進コンソーシアム
会長 鶴保 征城 印
乙 先端 IT 活用推進コミュニティ
代表 (代表者氏名) 印

別紙1:著作権譲渡契約書(案)目録1～3

目録1. 著作権譲渡の対象となる著作物総覧

【公開資料】

AITCの会期終了に伴い、一般公開資料については会期終了後も7年間(2028年9月末日まで)、AITCサイト上での公開を継続する。(注:会員限定公開資料については、本会期末をもって公開を停止する)

一般公開資料:

11年間の活動成果である下記一般公開資料については公開を継続(2028年8月31日までを予定)

<理事会認定成果物>

- ① クラウド・テクノロジー活用部会:
[気象庁 XML 用 API](#) (2014年2月7日公開。気象庁XMLの配信形態の変更を受け、2020年8月末日公開中止)
- ② コンテキスト・コンピューティング(CC)研究部会: 5論文
[「コンテンツの信頼性評価に関する考察」](#) (2019年6月19日公開)
[「コンテキスト・コンピューティングにおける投稿の信頼性評価」](#) (2018年9月7日公開)
[「コンテキスト・コンピューティングの構想～情報の共有と個人化の方法論として～」](#) (2014年9月30日公開)
[「コンテキスト・コンピューティングとその応用」](#) (2014年9月30日公開)
[「コンテキスト・コンピューティングに基づく意思決定のための知識抽出手法」](#) (2014年9月30日公開)
- ③ ビジネス AR 研究部会: 5論文、1デモソースコード
[「空間 OS によるエージェントのデータ共有と相互運用」](#) (2020年9月1日公開)
[「LODの物理世界拡張と空間 OS」](#) (2020年9月1日公開)
[AR 産業論](#) (2013年5月8日公開)
コラム「[AR 産業とは](#)」(2013年8月26日公開)
コラム「[AR が救う 100 年後の人類](#)」(2013年8月26日公開)
[AR 関連デモ ソースコード](#) (2013年7月16日 会員限定公開)
- ④ 協働プロジェクト「空気を読む家」: 2論文
[「空間 OS によるエージェントのデータ共有と相互運用」](#) (2020年9月1日公開)
[「LODの物理世界拡張と空間 OS」](#) (2020年9月1日公開)
- ⑤ 協働プロジェクト「ProjectLA」1論文
[「Project LA Final Report」](#) (2015年6月15日公開)

<AITC主催イベント関係資料>

- ・総会議案書
- ・総会記念講演
- ・中間活動報告会 & 活動成果発表会
- ・協働プロジェクト
 - －Project LA (Lead to Action)
 - －空気を読む家
- ・AITC Web セミナー
 - －ソフトウェアエンジニアの在宅勤務
 - －DX シリーズ
 - －新シリーズ (Deep Learning、ブロックチェーン、DX)
- ・会員限定勉強会
 - －プログラマーのための量子コンピュータ 勉強会
- ・AITC オープンラボ
- ・「身近になった AI 開発シリーズ2」
- ・シニア技術者勉強会「一からはじめる IoT」(1～5周)
- ・女子会

<外部イベント、共催イベント関連資料>

- ・ソフトウェアジャパン・IT フォーラム発表資料
- ・技術セミナー(WXBCとの共催)「気象データを“R”で可視化してみよう！」

目録2. 移管方法:

AITC サイト上の公開資料ページおよびセミナー・イベント情報ページをもって移管する。

目録3. 移管日時:

10月22日(金)開催「AITC コンソーシアム第12回(最終)総会」ならびに「AITC コミュニティ設立総会」における議案の承認確認をもって、2021年10月25日(月)に移管する。

別紙2： 本審議案件に関わる参考情報

【会期終了に関する経緯サマリー】

・正会員を対象に「会期終了に関するご意向アンケート」を実施

2020年7月、会期末を1年後に控え議決権を有する正会員(法人、個人事業主)に会期終了に関する意向確認のアンケートを実施(回答率92%)した。結果は、所定の会期で活動終了に賛成92%、現状の継続を希望として反対4%、会期の再検討を望むとして保留4%であった。(参照:下記「正会員の会期終了に関する意向確認アンケートの結果」)

・アンケート結果を踏まえ会期終了と以後の活動形態を検討

理事会と運営委員会で上記の結果とコメントを踏まえて討議し、①所定の会期をもってコンソーシアムの活動を終了すること、②活動終了後もコンソーシアムで培った人の繋がりを維持し、活動をしたい人への場の提供を検討することを決定した。

・第11回総会にて所定の会期末での活動終了を承認

2020年10月9日の「第11回総会」において、第3号議案として「会員規約に定める会期末をもってAITCコンソーシアムの活動を終了する」旨を諮り 全会一致で承認された。

【正会員の会期終了に関する意向確認アンケート結果】

正会員数:26、回答数:24、未回答数:2

回答結果: 賛同:22、賛同できない:1(会の活動継続を希望)、保留:1(東京五輪延期を受け会期再検討を希望)

コメント(抜粋):

・各種の先端ITの活用推進に取り組み、2013年以降は特にIoTやAI分野で先導役・推進役を担い、一定の役割を果たしたと評価できると思います。一方、活動を主体的に担う若い参加者が思う程には増えず、活動の長期化に伴いメンバーが固定化してきています。このような状況から、来年の会期終了をコンソーシアム活動終了の潮時と考えます。但し、活動終了後はコミュニティ化し、外部借用サーバ契約とAITC会員専用SNSを一定期間継続し、情報や意見交換の場と人の繋がりを保持したらいかがでしょうか？

・会員・顧問・理事の方々にはいろいろと教えていただき、また良い刺激を与えていただきありがとうございます。とても残念ですが、こういった団体の運営が難しくなってきたということかと感じます。新型コロナによってさらに内向き志向が強まるような雰囲気を感じ、今後は「個人」の意識が問われるのではないのでしょうか。会社の業務ではなく門下の卒業生として集まれる機会があると嬉しいです。

・先端IT活用推進のもと様々な企業の方、個人の方と関りが持てる場として大変貴重なコンソーシアムとっております。本会が終了であっても、別のかたちで同じように先端IT活用推進という同じ思いの方々と一緒にさせていただく場があればと希望します。もしそのような集まりがあれば是非参加させていただきたいと思います。

・参加メンバーから会期継続を希望する声が出ております。会期の延長もしくは後続の会合が立ち上がった際には、前向きに参加を検討させて頂きたいと考えおります。

・AITCは、形を変えてCommunityとしてでも是非継続して欲しいと考えています。

・別の形のコミュニティとしてできると良いと思います。

【本会活動に関する現状認識】

・本会は、設立以来の11年間に亘り、会員主体の部会等の活動や非会員も参加可能なオープン活動をもって、先端ITとして特に企業がこれからの技術として注目する新しい技術を活動領域への取り組みに注力してきた。

・特にIoT、AI、ブロックチェーン、量子コンピューティングの分野にいち早く取り組み、最新情報や知見の伝播に加えてスキル・ノウハウを有する技術者の育成に努めた。また、最終期にはDXに関する連続セミナーを実施し、技術、経営の両面から成る識者の講演とパネルディスカッションを通して、企業が直面するDX化に向けて様々な知見を会員、非会員を問わず提供し、先端ITの利活用に向け一定の成果をあげ、社会への貢献も行うことができた。

・上記からも先端ITの普及啓発・利活用推進役として、一定の成果をあげることができたと考えます。

・設立時より毎年度末に「会員アンケート」を実施してきたが、最終となる今年度の会員アンケートの結果でも、本会の活動に対して満足度94.9%と高く評価されている。11年間の本会活動を通して、会員が期待する内容とレベルを概ね充足できたものと考えます。

【AITCの11年間の活動に対する総合満足度】

(会員アンケート(2010年度～2020年度)を参照)

満足度 : 94.9%、不満足度 : 5.1%

【AITCへの期待、AITC11年間で有効だった、参加した意義があったと思う活動】

データ: 会員アンケート(2010年度～2020年度)を参照

AITCへ期待すること

- 1位 21.7%
最新技術情報を入手したい
- 2位 19.1%
自分自身の知識・スキルの向上を図りたい
- 3位 16.4%
他社メンバーと交流したい
- 4位 15.9%
会社の実業務では扱わない業界の情報を入手したい
- 5位 9.4%
部下や社内の人々の知識・スキルの向上を図りたい
- 6位 8.1%
社会に貢献したい
- 7位 3.3%
活動を通じて自社をアピールしたい
- 8位 3.1%
業界に対する提言・標準化の提案を行いたい
- 9位 2.7%
活動によって自分をアピールしたい

AITCの11年間で有効だった、参加した意義があったと思う活動

- 1位16.9% セミナー、オープンラボ (IoT、AI、ブロックチェーン、DX等)
- 2位16.4% 参加者の交流促進 (部会・勉強会の懇親会、合同懇親会 (セミナー後の講師 & 参加者の懇親会))
- 3位13.0% 先端技術の利活用の検討 (部会・協働プロジェクト「Project LA」、「空気を読む家」、学会への論文投稿 & 発表)
- 4位12.1% 勉強会活動 (会員限定) (AI (TensorFlow、NNC等)、ブロックチェーン、プログラマーのための量子コンピュータ等)
- 5位 9.7% 部会活動 (クラウド技術活用、CC研究、BizAR研究、UX技術、NUI活用)
- 6位 9.2% 他の業界との連携 (学会への参加、気象庁関係等)
- 7位 8.7% 技術者の育成 (5部会、各種勉強会)
- 7位 8.7% シニア技術者勉強会 (IoT)
- 9位 5.3% 女子会 (IoT、データ分析、機械学習)

コメント(抜粋)：

- ・社内では、視点や価値観が偏りかちだが、多様な視点での議論の大切さを感じる。
- ・自社では人数の少ない専門領域の技術者と建設的な議論ができる。
- ・スキルの高い人達が会社の垣根を越えて、沢山活動している。このような活動はなかなかない。
- ・参加技術者のレベルが高く、人的な交流に大変な価値を感じる。
- ・人生の先輩にあたる方が多く、仕事、プライベートを含め、学ぶべきことが多い。
- ・社内の人材育成に役立っている。
- ・部会活動では情報交換や新しい知識の取得が出来て有意義だった。
- ・毎月の部会活動やセミナー等何もかもが自分の糧になった。
- ・部会活動の結果を部会外に展開・還元できている
- ・女子会の活動に参加し、新たな知見を広めることができた。
- ・女子は忙しくて、なかなか仕事以外の活動がし難い。
- ・新しい技術に触れる場、実際に手を動かして物づくりができる場なのが意義深い。
- ・取り上げるテーマが魅力的で、ツボを押さえている。
- ・AI、量子コンピューティングの勉強会のレベルは、他ではなかなか高い。
- ・IoT、AI、量子コンピューティング等、最先端の技術について逸早く情報を得る場が提供された。
- ・IoT、AI、AR の活動に参加した。得られた知識はビジネス化するところまで洗練できていないが、まずは「スタートラインに立つ準備」ということで参加して良かった。
- ・IoT、AI の分野では、先導役として普及・啓発に一定の役割を果たしたと思う。
- ・多くの技術者や有識者と多くの交流が持て、知見を得ることができた。
- ・非会員も参加可能なオープンラボや勉強会等の活動を通して、人材の育成、情報の提供、知見の伝播の面で大いに社会貢献をしたと思う。
- ・これまで研究してきた先端技術のビジネスへの応用の可能性が見えてきた。
- ・各種の活動を通して、かなり社会貢献ができ、有意義であった。
- ・企業の垣根を越えた技術者同士の交流の場、今後も繋がりを維持していきたいと思える関係が生まれる場となったことは大きな成果だと思う。

【本会解散後の次期組織】

- ・昨実施した「会員の会期終了に関する意向確認アンケート」で寄せられた「この11年間で培った人の繋がりを維持したい」、「このまま全ての活動が無くなってしまふのは勿体ない」、「現在の活動を継続できる場が欲しい」等の要望に応えるべく、本会の後継団体として「先端活用推進コミュニティ」を設立する。
- ・これにより、本会の活動成果物、Webサイト&SNS情報基盤および残余資産は、「先端 IT 活用推進コミュニティ」に移管し、管理することとする。

別紙3. AITC11年間の活動総括

【期別トピックス】

第1期(2010年度):

- ① 6分野※を活動分野として選定

※クラウド・テクノロジー分野 (Hadoop/NoSQL 等)、インターネットデバイスアプリケーション開発環境分野 (iPhone/iPad/Android 等)、リッチインターネットアプリケーション分野 (HTML5 等)、コンテキスト・コンピューティング分野 (セマンティック Web/サービス・エンジニアリング等)、ソーシャル・コミュニケーション分野 (Twitter, Facebook, OpenSocial 等)、実世界と情報世界の重ね合わせ分野 (AR 等)

- ② コンテキスト・コンピューティング研究部会が活動を開始
- ③ クラウド・テクノロジー勉強会を経て部会活動を開始
- ④ ビジネス AR 分野の部会活動を開始

第2期(2011年度):

- ① ユーザーエクスペリエンス技術部会、ネットデバイスアプリケーション部会が活動を開始
- ② 5部会連携の協働プロジェクト※1として Project LA (Leads to Action※2) が始動

※1協働プロジェクト: AITC が対象とする先端 IT 各分野の活動が一つのテーマのもとに集結、連携し、プロトタイプを構築することで、先端 IT の有用性を検証、評価する活動

※2:「Project LA」:先端 IT を駆使し、膨大なデータを処理・分析するだけでなく、情報化、知識化し、一人ひとりに適した行動を促し行動を引き起こす「知識から行動へ」の仕組み作りを目指すプロジェクト

第3期(2012年度):

- ① 気象庁 XML 利活用セミナー:気象庁と共同で東京、大阪でセミナーを展開(～2014年)
- ② 協働プロジェクト「Project LA」の実証実験を実施。災害時の情報提供と対応行動をテーマに気象庁有志の協力を得て有効性と課題を検証。
- ③ 会期延長提案をを前提に次期検討委員会を立ち上げ、オープンラボを含む新しい活動構想を検討

第4期(2013年度):

- ① ネットデバイスアプリケーション部会をナチュラルユーザーインターフェース活用部会に改変
- ② AITC オープンラボ※1を開始(会期終了まで開催を継続)
- ③ 「デジタルガジェット祭り」を開始(以後、第9期まで連続開催)
- ④ 情報公開、活動のオープン化※2
- ⑤ AITC ロゴをリニューアル

※1オープンラボ:会員、非会員を問わず参加可能なセミナー等の活動で、先端 IT 活用推進を目指し裾野を広げる場であり、知見・ノウハウの社会還元を目指す場。データビジュアライゼーション連続シリーズで始動

※2情報公開、活動のオープン化:セミナー資料等を即日公開。イベント告知・集客に外部サービスを活用開始

第5期(2014年度):

- ① Project LAに続く新しい協働プロジェクト「空気を読む家」の活動開始(会期終了後はコミュニティで継続予定)
- ② AITCオープンラボで「IoT勉強会」、「DeepLearning勉強会」を展開、非会員の参加が急増しAITCの認知度が急速に向上
- ③ シニア技術者勉強会(IoTをテーマに会期末まで活動継続)、女子会(最新技術を学ぶをテーマに会期末まで活動)を開始
- ④ 研究成果の論文投稿、学会発表、公開、
- ⑤ AITCニュースレターの定期発行開始(会期末まで年3回発行を継続)
- ⑥ AITCパンフレットの作成・配布(毎期、内容を更新を実施)

第6期(2015年度):

- ① オープンラボで「AI/ニューラル・ネットワーク」、「ブロックチェーン」の講演、演習込みの「機械学習勉強会」を展開し、参加者の大幅増加、AITC の知名度向上
- ② TensorFlow 勉強会(会員限定)を開始、個人会員が増加
- ③ 協働プロジェクト「空気を読む家」新しいセンサーの活用を取り込み、シナリオの強化に挑戦
- ④ オープンラボ「第三回ガジェット祭り」で、NUI/UX 合同部会とシニア技術勉強会、女子会による合同発表会を開催し、技術と人的交流を促進

第7期(2016年度):

- ① 部会活動の進化と深化(IoT、機械学習/深層学習、ロボット、AR+VR+MR 等の技術分野から集合知やマンガ駆動開発の研究まで)
- ② 協働プロジェクト「空気を読む家」では「快適な睡眠」の命題に挑戦
- ③ 第一期「TensorFlow 勉強会(会員限定)」活動報告会を実施、第二期の勉強会を開始
- ④ 「ブロックチェーン勉強会(会員限定)」を開始、新規の個人会員が増加
- ⑤ オープンラボで AI(講演、鼎談、機械学習勉強会)、ブロックチェーンを継続して展開

第8期(2017年度):

- ① 気象庁長官賞を授与※1
- ② 「TensorFlow 勉強会」新規メンバーを加えて第二期を展開
- ③ ブロックチェーン勉強会 1st クール(各社製品紹介)、2nd クール(演習)を展開、新規の個人会員増加
- ④ 懇親会の活用、交流を促進
- ⑤ 他団体(気象ビジネス推進コンソーシアム)の活動に貢献

※1受賞の理由:「気象庁 XML フォーマット策定への技術協力(XMLコンソーシアム)」から始まった「気象データの高度化および利活用推進」に対する長年の貢献に対して。

第9期(2018年度):

- ① オープンラボで「量子コンピューティング」を展開、多数参加
- ② 部会と他活動との間でスキルとノウハウの伝播とフィードバック実践※1
- ③ 部会活動を学会の場で発表し知見の共有を促進※2
- ④ 「身近になった AI 開発シリーズ1(会員限定)」を開始

※1:「プログラマーのための量子コンピュータ入門勉強会(会員限定)」をクラウド・テクノロジー活用部会メンバーを講師に実施

※2:コンテキスト・コンピューティング研究部会:DEIM データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム)、ユーザーエクスペリエンス技術部会:ヒューマンインタフェース学会、ビジネス AR 研究部会、協働プロジェクト「空気読む家」:人工知能学会 SWO 研究会

第10期(2019年度):

- ① 協働プロジェクト「空気を読む家」では AI & IoT による『安心安全な空気を読む家』の実現をテーマとして「IT フォーラム」で発表、リアルタイムでインタラクティブ性のあるデモの“Touch & Try コーナー”も開設
- ② 新型コロナ感染拡大を受け、2月以降は全活動を集合形式からオンライン開催に変更しオープンラボも Web セミナーとして開催、演習中心の勉強会は已む無く一時停止
- ③ AITC 女子会では、データ分析から機械学習書の輪読を経て、今期より演習中心の「Neural Network Console で機械学習に挑戦！」にフルオンライン勉強会として開始

第11期(2020年度):

- ① オンライン開催された IT フォーラム2021で「空気を読む家～ファイナル」を発表
- ② 通年、全ての部会活動をオンラインで開催
- ③ Web セミナーで年初より半年間をかけて DX シリーズを開催し、企業が直面している DX への取り組みについて 10 回に亘り技術面、経営面の両サイドから識者の講演、パネルディスカッションと参加者との意見交換会を実施。インサイトフルなセミナーと高評価を得た
- ④ 会員限定勉強会の「身近になった AI 開発シリーズ 2～Neural Network Console 勉強会」を、社会貢献の一環としてオープンな活動として実施
- ⑤ 3種の演習中心の勉強会(「シニア技術者勉強会」、「女子会」、「身近になった AI 開発シリーズ 2」)をフルオンラインで開催

以上